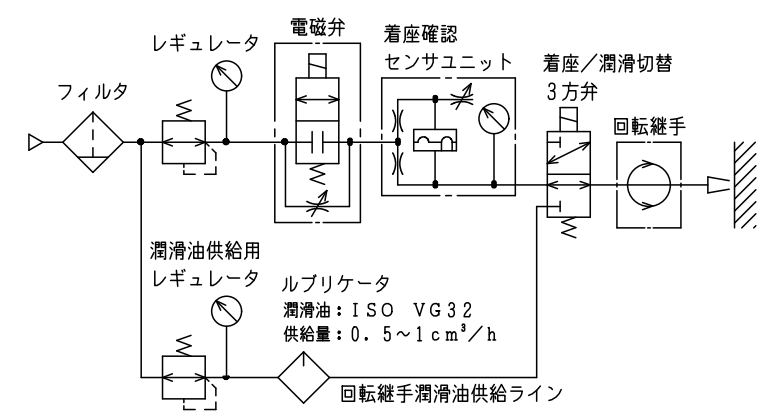
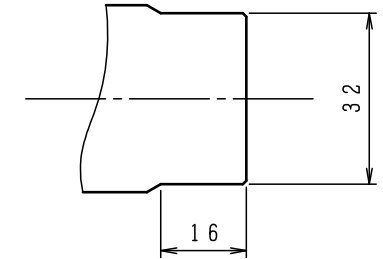


回転継手シール面潤滑方法の例



外注先コード	
図面配布部数	90
機軸管	91
06	93
	94
	95
31	96
32	97
38	98
43	99
51	M
62A	接 触
62B	品 種
68	
71	生 産
76	検 定
81	設 計
	計

仕 様		回 転 継 手 部 仕 様	
シリンダ形番	H06C200	使用流体	エアまたはクーラント
シリンダ内径	200 mm	最高使用圧力	エア 0.5 MPa クーラント
ピストンストローク	20 mm		
受圧面積	押側 304.5 cm² 引側 304.5	記	6. 排気ポートよりクーラントまたはエアの漏れが生じた時は、回転継手の寿命です。新品に交換願います。またM5のタップが設けてありますが、このタップ穴は絶対に塞がないようにして下さい。
使用空気圧力	最大 0.8 MPa 常用	1. 配管材はシリンダや分配器に無理な力が掛からないようフレキシブルホースを使用して下さい。	7. 配管を行う前に、Rc 1/4ポート（クーラント・エア供給ポート）にISO VG 32相当のオイルを、約4 mL注入して下さい。
最高使用回転数	3500 r/min	2. 分配器は機台に固定せず、図示のようなガイドプレートを挿入する方法を用いて回り止めを設けて下さい。	8. 着座確認用エアの場合、エア回路にはシール面潤滑のため図示例のような方法で潤滑油を供給して下さい。 (潤滑油: ISO VG 32, 供給量: 0.5~1 cm³/h)
質量	17 kg	3. 使用空気圧力は当シリンダ単体の値です。チャックの仕様欄で指示された値に合わせて使用して下さい。	9. クーラント回路には、機能に有害な切粉が混入しないようにフィルタを設置して下さい。(推奨25 μm) (その他の流体については弊社にお問い合わせ下さい。)
慣性モーメント	この値の4倍(4G)に相当します。 0.12 kg・m²	4. 清浄で適切に潤滑油を混入させた圧縮空気を用いないと、各部の摩耗を促進し、製品の寿命を著しく縮める結果となることがあります。 フィルタのろ過度は5 μm以下、潤滑油種はISO VG 32相当のものをご使用下さい。	
空気漏洩量	0.40 L/sec (A.N.R.)	5. 排気ポートからは通常、仕様欄の空気漏洩があります。水分の多い空気を用いると油の混入した水滴が落ちる場合があります。このため、水分が悪い影響を与える場合は、影響を及ぼさない場所まで配管しておいて下さい。	
不つりあい量: シリンダ外周にて2.5 g以下。(JIS B0905 8 mm/3相当)			
(1 kN=101.97 kgf, 1 MPa=10.197 kgf/cm²)			



納入先	○ 計画図 ○ 見積図	● 納入仕様図 ○ 製作図
尺度 SCALE 1:1	H06C200	
承認 APPROVED	点検 CHECKED	担当 DESIGNED
日付	日付	日付
名称 TITLE 回転エアシリンダ (注水形)		
図番 DRAWING NO. B-5129C		
豊和工業株式会社 HOWA MACHINERY, LTD.		
符号	訂正記事	承認日付 承認 点検 担当

除去加工品	m	c
0.5以上 347	±0.1	±0.2
36CS 6	±0.1	±0.3
6 30	±0.2	±0.5
30 120	±0.3	±0.8
120 400	±0.5	±1.2
400 1000	±0.8	±2.0
精 鉄 品	精 査	登 録
メ ー ン 品	B 級	C 級

(S)